

理
窓

理窓教育会報

第 40 号

平成 24 年 10 月 1 日

東京理科大学理窓教育会

事務局 大学会館 PORTA 神楽坂 7 階

巻頭言 『教育会支部と理窓会支部の連携について』

理窓会会長 山田 義幸(29K)

東京物理学校、東京理科大学を卒業し全国の中学校・高等学校等で教職につかれ、退職された皆様、および現職の皆様、17 万人の卒業生を擁する理窓会を代表して教育会会報 40 号の巻頭言を書く機会を頂いたことは大変な光栄です。

私が出席している全国の理窓会支部総会に多くの教員 OB と現職者が出席され、過ぎし日の思い出、日頃の教育現場のお話を聞くにつけ、物理学校開設以来地域の理科教育を支え、更に地域の理窓会支部活動を 100 年以上も絶やすことなく継承されてきた教員の皆様のご尽力に深い敬意を表します。

昭和 26 年、学校設立 70 周年の頃

会誌「理窓」昭和 26 年（1951 年）9 月、171 号（8 頁 B5 判）を見ますと、70 周年記念行事予定と支部報告が大部分を占め、記事の殆どは中・高の先生方によるものです。

当時の卒業生数は 1 万 1 千人、中・高教員数は全卒業生の約 30%、3 千人位だったでしょう。青森、信州、東京、湘南、滋賀、奈良、愛媛、北九州支部の報告が掲載され、沢山の教員の名前と共に活動の様子が記されています。

教育会支部と理窓会支部の様々な形

現在の卒業生数は 1 7 万人、中・高教員数は全卒業生の約 5%、約 8 千人でしょう。全国 47 都道府県で活躍し、多くの理窓会支部の運営を支えています。現在の教育会の全国支部と理窓会全国支部との連携は大きく分けて 3 つの形態があります。

- 1) 教育会支部総会と理窓会支部総会が別々に開催され、理窓会支部総会に企業人ばかりと教員が参加している。
- 2) 理窓会支部総会のみで、それを企業人ばかりと教員が共同で運営し参加している。
- 3) 理窓会支部総会のみで、教員の参加がなく、日常的な教育会の組織活動もない。

そして、それぞれの地域の教育会幹部の悩みは、個人情報保護の観点で地域に在住する教員の把握が出来なくなったことと聞いています。昔のように、学校毎の出身校の入った教員名簿が公開されることはなくなったからとのことです。

地道に伝手を辿ることと、ホームページのようなメディアで活動の様子を公開して関心を持って貰うという事でしょう、更に年に 1 度の総会だけではなく、何か日常的な活動を続けることでしょう、これは理窓会支部も全く同じことです。是非とも理窓会支部と教育会支部の連携を強めて頂きたいと思えます。

これからの若い教員のために

平成 24 年 3 月の学部卒業生は 4 千人でした。教職員試験合格者は 193 人で、3 月 3 日に教育会東京支部が開催した教員採用候補者激励会には 60 人の北海道から九州までの候補者が参加し、諸先輩の熱のこもった激励と、全員からの個々の決意表明を、私も目の前で見て感激しました。それぞれの赴任地で先輩教員との交流ができるよう、工夫をして頂きたいと思えます。

東京理科大学理窓教育会 平成 24 年度 総会

第 1 号議案 平成 23 年度 会務報告

1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成 23 年度は、「書面総会」の形式で実施した。各支部長に下記の事項の議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらった。それを本部で集計し、会報第 38 号に詳細を掲載して、書面で承認をしてもらった。

- ① 平成 22 年度の会務報告及び会計報告。
- ② 平成 23 年度の活動計画及び予算案。

2. 組織の充実、強化に関して

① 各支部の活動状況

5月 22日 東京支部総会	7月 2日 富山支部総会
7月 9日 神奈川支部総会	8月 21日 千葉支部総会
9月 3日 北海道支部総会	9月 10日 茨城支部総会
9月 24日 熊本支部総会	10月 1日 山梨支部総会
10月 23日 秋田支部総会	11月 19日 山形支部総会
11月 26日 岩手支部総会	11月 26日 群馬支部総会
12月 10日 埼玉支部総会	1月 21日 静岡支部総会

② 会報発行

第 38 号平成 23 年 10 月 1 日発行

第 39 号平成 24 年 4 月 1 日発行

3. 大学との連携事業

- ① 工学部二部ウォームアップセミナー講師派遣（4月5日～8日）
- ② 教員採用第 2 次試験対策講座講師派遣（8月10日，12日）
- ③ 私学教員採用試験対策講座講師派遣（1月31日）

4. 理窓会との連携事業

- ① 坊ちゃん科学賞の運営・審査・発表会への協力
- ② ホームカムミングデー運営への協力

5. その他の活動（東京支部主催）

- ① 管理職選考合格者・退職者等激励会（3月3日）
年度当初、各支部長にお願いして管理職の調査を行っている。この調査に基づき、東京都の 24 年度昇任予定者、24 年度選考合格者、23 年度末退職者を紹介し激励した。
- ② 新規採用教員予定者激励会（3月3日）
本学を卒業し全国の公私立学校に新規採用の予定者を招いて激励した。
- ③ 編集委員会
平成 23 年 7 月 第 38 号の発行について
平成 24 年 2 月 第 39 号の発行について
- ④ 指導委員会
生涯学習センターが実施する教員採用試験対策講座 [3 年生対象(秋) 合宿(3 月) 4 年生対象(春)] へ講師を紹介した。講義内容検討会(7 月)を行った。
就職課が実施する教職ガイダンス [4 年生対象(4 月) 3 年生対象(11 月)] への講師を紹介した。
- ⑤ 研修委員会
東京都管理職選考第一次選考合格者への面接指導を実施した。

以上

第 3 号議案 平成 24 年度 活動計画案

1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成 24 年理窓教育会総会は、「書面総会」方式とする。昨年度と同様に各支部長に議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらい、それを本部で集計し、会報第 40 号に詳細を掲載して、書面で承認をってもらうこととする。

2. 各支部総会

各支部で実施する。実施状況を、会報第 40 号に掲載する。

3. 地区別支部長会

地区別支部長会を実施する。開催を希望する地区の副会長は開催日、開催地等を本部に申し出る。

4. 会報発行

第 40 号、第 41 号を発行する。

5. 財政の健全化に向けて

財政の健全化を期して会費納入者の増加を図る。

各支部では、本部への年会費（1 名あたり 1000 円）の納入の呼びかけを一層進める。

6. 会員の拡大

同窓の教員に会報を送付し、会の活動を紹介し、会員の拡大を図る。

7. 大学との協力促進

① 教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し、多くの後輩が教職に就けるよう協力する。

就職課ガイダンス、面接指導への講師派遣、生涯学習センター講座への講師派遣等の協力をする。

② 東京理科大学維持拡充資金（第二期）事業への協力。

趣旨に賛同し、その募金活動を継続推進する。

③ 大学の学生募集の協力。

ア. 学生募集広報に協力する。

イ. 第二部推薦入学の広報に協力をする。

④ ホームカミングデー運営への協力

⑤ 坊ちゃん科学賞の運営・審査・発表会への協力

8. 教育管理職受験者支援（東京支部主催）

ア. 管理職受験希望者への研修の、新しいあり方の検討をする。

イ. 管理職に昇任された方々への祝意を表す会を開催する。

9. 新規採用教員予定者激励会（東京支部主催）

全国の公立、私立学校教員採用試験に合格した学生を招待し、激励会を開催する。

以上

第2号議案 平成23年度会計報告(案)

第4号議案 平成24年度予算(案)

平成23年度 会計報告書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

[収入の部]

科目	予算	決算	比較増減
前年度繰越金	11,449	11,449	0
納入会費	250,000	265,810	15,810
理窓会正会員協力金	10,000	16,200	6,200
雑収入・利息	10	20,876	20,866
合計	271,459	314,335	42,876

[支出の部]

科目	予算	決算	比較増減
交通費	60,000	60,000	0
慶弔費	20,000	20,000	0
会議費	2,000	1,240	760
支部長会積立金	0	0	0
事務費	5,000	3,398	1,602
会報印刷費	100,000	94,790	5,210
郵送費	82,000	87,780	-5,780
記念品代	0	0	0
予備費	2,459	3,000	-541
小計	271,459	270,208	1,251
次年度繰越金		44,127	
合計	271,459	314,335	

平成24年度 予算

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

[収入の部]

科目	予算
前年度繰越金	44,127
納入会費	250,000
理窓会正会員協力金	10,000
雑収入・利息	5
合計	304,132

[支出の部]

科目	予算
交通費	60,000
慶弔費	20,000
会議費	2,000
支部長会積立金	0
事務費	5,000
会報印刷費	100,000
郵送費	95,000
記念品代	0
予備費	22,132
合計	304,132

※「収入の雑収入・利息」欄の20,876円は前年度東京支部立て替え金の返金20,875円と利息1円。

※ 支部長会積立金は、「年度末の会計を考慮して判断」としていましたが、予算の通り0円としました。

※地区別支部長会費会計 平成23年度会計報告及び平成24年度予算(案)

平成23年度 会計報告書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

[収入の部]

科目	予算	決算	比較増減
前年度繰越金	931,376	931,376	0
本年度会計より	0	0	0
受取利子	500	225	-275
合計	931,876	931,601	-275

[支出の部]

科目	予算	決算	比較増減
地区別支部長会費	250,000	0	250,000
予備費	681,876	0	681,876
小計	931,876	0	931,876
次年度繰越金		931,601	
合計		931,601	

平成24年度 予算

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

[収入の部]

科目	予算
前年度繰越金	931,601
本年度会計より	0
受取利子	250
合計	931,851

[支出の部]

科目	予算
地区別支部長会費	250,000
予備費	681,851
合計	931,851

(平成24.5.1作成)

会計: (各担当理事) 酒匂昭男

齋藤常男

渋谷重雄

会計監査: 監査の結果、正確適正であることを認めます。

平成24年6月9日 監査 倉橋常雄
鈴木宏司

総会 総括

平成24年度理窓教育会総会は、昨年度と同様「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、議案に対するアンケート形式を採り、全国支部長の皆様の意向を集約させていただきました。

◎ 集約の結果

回答のあった支部数 16 (昨年度 19)

1号議案 賛成 15 反対 0 白票 0

2号議案 賛成 15 反対 0 白票 0

3号議案 賛成 15 反対 0 白票 0

4号議案 賛成 15 反対 0 白票 0

- ① 議案に反対する意見は0です。
- ② 各議案に対する意見を原文のまま参考資料として、掲載してあります。
- ③ 以上、賛成、反対、白票および参考意見を吟味しまして、各議案のすべてをご承認いただいたことにさせていただきます。

以上、平成24年度総会は、各支部長等皆様のご協力により、無事終了させていただくことができました。皆様方のご理解とご協りに厚くお礼申し上げます。

参考資料 書面総会アンケートの集約

ご意見等のあった支部数 1

○茨城支部：

1号 支部総会を独立して開催している支部と、理窓会支部と合同で開催している支部があるが、会務報告でははっきりしない。

2号 収入の部で納入会費の1000円未満の額が不明です。科目の中身についてほとんど言及していないが、書面総会だからこそずっと詳細な資料があるべきかと思えます。

3号 付属高校、中学校の設立こそ、教育会として大学へ訴えてよいのではないかと思います。

4号 会報は何部印刷しますか、支部総会の時に本部会費を払っていない人に配布するほどの余分はないでしょうか。地区別支部長会費の繰越金がちょっと目についたので…。

※いただいたご意見は10月5日の定例理事会で検討をする予定です。

理数教育の拠点として

会員皆様のご支援を

理窓教育会会長(48K) 富岡 康夫

平成23年8月閣議決定の第4期「科学技術基本計画」の「IV. 3. (3) 次代を担う人材の育成」において、初等中等教育段階から理数科目への関心を高め、理数好きの子ども達の裾野を拡大するとともに、すぐれた素質を持つ児童生徒を発掘し、その才能を伸ばすための一貫した取組を推進する」とあるように、現在、理数教育の充実が我が国の将来にとって重要な課題の一つであります。

顧みますと平成20年1月17日の中央教育審議会の答申により「生きる力」の教育理念のもと学習指導要領が改訂されました。私自身も、審議会専門委員として加わり、高等学校では主査代理として力を注ぎました。その中で改善のポイントとして理数の力をはぐくむことが実現し、授業時数が増加したことはご承知の通りです。さらに質量共に充実した新しい教科書の検定にも関わりました。今や各学校現場ではその趣旨を生かし、指導の内容を充実させることが緊急の課題となりました。

我が東京理科大学は神楽坂キャンパス6号館に我が国でも初めての教職課程専用の理科実験室を新しく設置して指導法の研究や高度な機器を導入して力量ある教師の輩出に取り組んでいます。今年度も教職課程指導室の熱心な取組により理数教員を最も多く輩出している本学の人材育成の役割は、我が国の理数教育の拠点として益々重要になったと考えます。

今こそ理窓教育会の会員の皆様にご支援をお願いすべき時はないと思えます。会員の加入推進、会員相互の研鑽、交流をさらに活発にしたいと願っています。

理窓会東京支部総会報告

東京支部長(45B) 松原 秀成

今年度も東京支部総会後の、報告会・講演会・懇親会を教育会東京支部と共催し開催した。

①日時 平成 24 年 5 月 27 日 (日) 13 時 30 分～

②場所 東京理科大学神楽坂校舎 1 号館 17 階 記念講堂及び大会議室

③参加者 79 名

④総会

招待者：渡辺恒夫常務理事、藤嶋 昭学長
山田義幸理窓会長、森野義男維持会長、豊泉
こうよう会東京都支部長、北澤こうよう会東
京都副支部長、近県支部長 3 名

副支部長島崎益男氏の司会で、議題など無事終了した。

⑤報告会

大学の現状、理窓会の活動報告、募金の新
税制などについての説明

⑥講演会

講師 東京理科大学 理工学部
教授 池北 雅彦 先生

演題 「薬はなぜきくか」

池北先生は本学 50・薬学部卒業の後、東京
大学にて薬学博士の学位を授与された。英王
立研究所、米国ミシガン州立大学、仏ルイ・
パスツール大学に留学。「アポトーシスのメ
カニズムに関する生化学的研究」「糖タンパ
ク質糖鎖の構造と機能解析」等の研究にかか
われた。

参加者全員で記念写真撮影後より懇親会が
行われた。

⑦懇親会

渡辺恒夫常務理事、藤嶋昭学長、水野澄千
葉支部長、豊泉高明こうよう会東京都支部長
の祝辞をいただき、関根功特別顧問の乾杯発
声で懇親に入った。有意義で楽しい懇親の会
となった。最後に富岡康夫理窓教育会東京支
部長の中締めで終了となりました。

(文責 松原秀成)

理窓会代議員総会報告

理窓会副会長 (41S) 坂本 功

理窓会代議員総会が 6 月 17 日(日)13 時よ
り、神楽坂校舎 1 号館 17F の記念講堂で開か
れました。

なお午前中は理窓会支部長会が同場所で開
かれ、全国から集まった理窓会支部長が活発
な支部活動の報告を行いました。今年は特に、
理窓教育会の支部との連携した活動を紹介し
ていただき、今後の理窓教育会の活動に大き
な示唆を頂戴しました。

総会における、山田義幸会長の挨拶及び所
信表明では、理窓会のさまざまなデータを示
し、理窓会の姿を推測させました。そしてそ
の数値をさらに上げるための、地道な活動を
提案されました。

議事は、山田会長が議長を務め、平成 23
年度理窓会会務報告、同収支決算並びに監査
報告、平成 24 年度理窓会事業計画・行事日程、
同理窓会予算などの議事について活発な審議
が行われすべてが承認されました。

続いて、ホームカミングデーについて、坊
ちゃん科学賞について、維持拡充資金につい
て、の報告がなされました。

その後、懇親会が PORTA 神楽坂の理窓会
倶楽部で行なわれました。「こうよう会」から
の参加も得て、和気藹々と懇親を深めました。

新任教員の抱負

岐阜県立岐阜総合学園高等学校

教諭 小池 郁香 (平 23 理・数)

中学生の時に数学の楽しさを知り、高校生
になっても学校が大好きで、いつかこの場所
に帰ってきたいと思った私は、迷わず高校の
数学の教師になることを決意しました。そし
て、大学を卒業したその春から、生まれ育っ
た岐阜で教師としての新しい生活をスタート
させました。

岐阜総合学園高校は、岐阜県で最初にできた総合学科の学校です。単位制の学校で、2年次からは、ほとんどの科目を生徒が自分の進路に合わせて選択します。普通科出身の私にとっては、授業の選択から単位の取得まで、全てのことが初めてでした。それでなくとも、働いた経験はバイトのみ。社会人としての社会を経験したことのない私が、一人の大人として、総合学科の教師として生徒の前に立っているのだろうか、不安が絶えませんでした。しかし、周りの先生方に助けていただき、授業や部活動を通して生徒と触れ合っていく中で、私の不安はいつしか薄れていったように思います。

授業では、数学を通して論理的に物事を考える力や、純粋に数学を楽しんで欲しいという思いを持って取り組んできました。卒業後は就職するか、進学をするにも数学を必要とする生徒は少なく、数学が苦手な生徒も多くなります。そこでまずは、基礎・基本、計算を正確しく行うことに重点を置くことにしました。例題や演習問題は、身に付けて欲しいことを一つに絞り、生徒も反復して問題に取り組むことで段々と自分の力で問題を解けるようになっていってくれました。テスト前はわざわざ職員室まで質問をしに来てくれる生徒も多く、苦手な数学に一生懸命取り組もうとしている姿を見るととても嬉しくなります。

部活動では、自分の経験したことのない卓球部の顧問をしています。技術的な指導はできなくとも、それ以外の指導や、悩みを聞いてあげられる存在になれるよう、毎日部活動に参加し、生徒とコミュニケーションをとっています。

この一年を通して、失敗したことも成長できたこともあります。しかし来年度、持ち時間も増え、HR担任も受け持つことになると思います。その中でまた壁にぶつかることが何度もあるでしょう。その度に生徒一人ひとりと向き合いながら、それぞれの進路に向かっていく生徒の背中を押してあげられる教師になれるよう、日々努力していきたいと思えます。

東京都大田区立大森第十中学校

教諭 加藤 友嗣(平 24 理・数)

理学部第一部数学科を卒業してから5ヶ月が経ちました。数学の楽しさを子供たちに伝えたいと思った私は数学の教師を目指しました。現在、大田区立大森第十中学校の教員として数学を教えています。生徒380人と毎日を通っています。

赴任直後は慣れない事、初めての事ばかりで自分のことに精一杯でした。授業も教育実習で経験した授業だけでどのように進めているのか、どのように指導していくのかわからず困り果ててしまうことがありました。けれど学年の先生方や同じ数学科の先生方からのアドバイスや指導をしてもらい無事1学期を終えることができました。

まだまだ授業ではわからないことが多いです。それでも授業を進める上で一番気をつけているのは「授業で一番伝えたいことを意識する」ということです。一時間の授業の中で生徒に伝えたいことはたくさんあります。ですがそれでは授業を受ける生徒は、何が大事なかわからなくなってしまいます。出来る限り伝えたい内容を整理するようにしています。特に数学の苦手な生徒には「この一時間でこれだけは出来るようにしよう」と声をかけるようにしています。

部活動はサッカー部の顧問をしています。部員数は50名を超え、夏の区大会では見事に優勝というすばらしい成績を収めました。未経験のサッカーですが生徒たちと一緒に紅白ゲームに参加し、時には生徒にリフティングなどを教わっています。

教員の仕事は思ったとおりにいかないことが多く、失敗するなど自分の力の無さを痛感することもあります。しかし、子供の成長を目の前で感じるこの仕事は他には無い魅力がたくさんあります。一つでも多くのことを学び、日々精進していこうと思えます。

埼玉県立北本高等学校

教諭 田嶋 康志 (平 24 理・数)

平成 24 年の春に理学部第一部数学科を卒業してから 3 ヶ月が経ちました。現在は埼玉県立北本高等学校で数学の教員として日々を過ごしています。毎日いろいろな出来事があり、退屈することがありません。ここでの経験がこれからの教師としてのスタイルを決めるというので、何事にも全力で取り組んでいます。

私が高校生のとき、実は数学が苦手でした。しかし数学を勉強していると、世の中の仕組みを解き明かしていくようで、とても楽しかったです。どんな進路でも、物事の仕組みがわかることで幸福な人生を送ることができそうです。そのような人生を送って欲しいと思い、数学の教師を志しました。

北本高校は全校生徒数 700 名強の北本市内では唯一の高校です。大学や専門学校へ進学する生徒がいる一方で、就職する生徒もいるなど、進路は多岐に渡ります。しかし、数学を必要とするような進路に進む生徒は少なく、逆に数学の授業に対する意欲を失っている生徒が多くいます。

そこで授業では「なぜ」「なんで？」という質問を多く投げかけています。自分の考えを自分の言葉で説明させ、コミュニケーション能力を育むとともに、物事の仕組みを考える体質を作ることが狙いです。同じような目的で、「…とはなんだっけ？」と質問することも多いです。これが実を結んだのか、初めてのころは断片的な言葉でしか説明できなかった生徒も、最近では自分の考えを上手に語るできるようになってきました。

また、高校を卒業してすぐに就職する生徒も多いので、ルールやマナーについての指導を厳しく行っています。服装や髪型は正しくする。遅刻は絶対にしない。提出物の期限を守る。あいさつをしっかりとる。このような、社会人として最低限身に付けなければならないことを指導しています。

部活動はサッカー一部の顧問になりました。サッカーは全くの未経験で、技術や戦術の指

導はできません。しかし、生徒が部活に打ち込めるようにサポートしています。また生徒会の顧問として、生徒と一緒に文化祭や体育祭の準備をしたり、委員会活動をしたりしています。

自分の思い描いていた理想とは違ったり、思い通りに授業をすることができなかつたりして、思い悩むことも多いです。しかし、生徒が頑張っている姿を見ると、自分も頑張らなくてはならないと思わされます。生徒がそれぞれの進路に向かう後押しができるような教師になるため、日々努力していきたいです。

千葉県千葉市立轟町中学校

教諭 大熊 和世 (平 20 理二・数)

中学生の頃からの夢だった教師になってから早 3 年が過ぎました。『数学の楽しさを伝えたい』『多くの子どもたちを成長させたい』という思いでなった教師です。つらく苦しく教師を辞めようかと考えたこともありますが、今はこの先もずっと続けていきたい、そう感じています。

今、私は 1 年生の数学を担当しています。「わかる！できた！」と生徒が感じることでできる授業が作れるよう、教材研究をしています。生徒指導や部活指導においても『何を 1 番伝えたいのか』その目的を絞って指導にあたるよう意識しています。失敗しつつも楽しみながら毎日を送っています。

この 3 年間、様々なことを学びました。1 番大きなことは『人と人が接している』ということです。最初は自分の思いがうまく伝わらず、もめてしまうこともありました。そんな時、諸先輩方の指導を学んでいくうちに、そこには人間関係があることに気づきました。その時その場所その生徒によって、指導の仕方は異なります。しかも、マニュアルはありません。私も生徒も一人の人間、生徒との関係や個性を踏まえながら、接していくことが大事だと学びました。今は、生徒一人ひとりにより合った指導ができるようになりたいと日々励んでおります。休み時間は生徒と話をして生徒理解に努めたり、諸先輩方に情

報や助言を頂いたりしています。時に生徒と衝突することもあります。失敗は必ず反省をして次に生かせるようにしています。そして自分の思いが生徒に上手く伝わったときの喜びは格別なものです。

私は教師という仕事が好きです。子どもたちと話す時間はとても楽しく、何よりも子どもたちの笑顔を見るとそれだけで嫌なことも忘れてしまいます。それが教師を続ける上で大きな力となっています。生徒たちがより成長できるよう、生徒とよりよい人間関係を築き、どんなときも前向きに全力で指導にあたっていきたいです。

千葉県柏市立風早中学校

教諭 倉持 元 (平 23 理・応化)

4 月、私は柏市立風早中学校に赴任しました。全校生徒数 300 名程度と柏市内では小規模の学校ですが、生徒は素直であり、非常に恵まれた環境で教員生活の第一歩を踏み出すことができました。

現在、第 1 学年 100 名の副担任として毎日を送っています。毎日、さまざまなことが起こり、そのひとつひとつが新鮮であり、充実した日々です。しかし、当初は初めての事ばかりで、自分自身に余裕がありませんでした。生徒は正直です。私に余裕がないと感じるとなかなか話しかけてくれません。生徒との人間関係を形成するために、自分から積極的にコミュニケーションをとり、生徒の前では常に余裕を持つ必要があることを強く感じました。生徒は自身を映す鏡と言われるように、生徒の前では常に余裕を持ち、笑顔で接していきたいと思います。

また、部活動では女子バレーボール部の副顧問となりました。自分自身もバレーボールを経験してきましたが、教えることの難しさを日々感じています。競技経験者であることの先入観を持たず、生徒の反応や言葉を受け止め、反映させ、共に汗を流し指導していきたいです。

教科の理科では少しでも生徒の興味・関心

を高めることができる授業を行いたいと試行錯誤しています。その中で、自分の力不足を痛感していますが、一生懸命、丁寧に授業することを意識し授業に臨んでいます。また、授業時間内だけでなく放課後など生徒が質問しやすい環境を作り、生徒の「わかった」、「できた」という実感のためにとことん付き合うことを目標に取り組んでいます。

教員としての第一歩を踏み出しましたが、自分の思い描いたようにはいかず、力不足を感じ、悩むことも多いです。しかし、職場の先輩方や同期の仲間、そして生徒に支えられ一歩一歩前へ進んでいます。常に謙虚な姿勢を持ち続け、信頼される教師を目指し、日々努力していきたいと思います。

管理職への昇格

平成 24 年度の人事異動で、多くの同窓生が管理職に昇任されました。心からお祝い申し上げます。

【北海道】

佐々木高至 54 理工数 札幌新川高長
近野 仁 56 理工電 遠別農業高長

【秋田】

宮野加恵子 55 理数 由利高長
内藤佳史 58 理工数 横手市立鳳中長

【群馬】

富田 忍 60 理数 渋川工高長
大塚道明 60 理工数 赤城養護伊勢崎分校頭

【千葉】

明田成一 木更津市立鎌足中長
古川知己 成田市立吾妻中長
大嶋一夫 松戸南高副長

【東京】(管理職選考試験合格者)

(校長)

増田律子 52 理工数 台東区立浅草中
折橋信二 61 理数 江戸川区立小松川第二中
雨宮敏彦 56 理工情 清瀬市立第五中

(副校長)

古川良行 57 理化 葛飾区金町中
今谷賢一 61 理応数 足立区立区扇中
植木俊孝 60 理数 小金井市立緑中

【神奈川】

- 池田 尊 54 理工数 相模田名高長
奥津 泉 54 理応数 大井高長
登坂淑之 53 理数横浜清陵総合高副長
熊野宏之 60 理応化 田奈高副長
梶原健司 58 理工数 霧が丘高副長
重田 宏 58 理数 氷取沢高副長

【富山】

- 大村年和 55 理工数 泊高頭

【広島】

- 常廣健治 61 理工数 三次高校定時制頭
脇田龍之 54 理化 呉市立倉橋東中長

【宮崎】

- 児玉康裕 62 理応化 宮崎東高頭
久保田一史 60 理応数 小林高頭
森下洋一 58 理応物 町立北郷中長

以上、名簿到着の都道府県のみ掲載です。
東京は管理職選考試験合格者です。

同窓の活躍

教育は社会存立の基盤

**東京都台東区立柏葉中学校長
(52 理・化) 宮川 保之**

【教育行政での仕事を振り返って】

都においては、主として生徒指導に関する業務に携わり、「心の東京革命」事業の企画や小学校等への「非常通報装置」の導入、いじめ問題や不登校対策等に携わりました。文部科学省においては、視学官として教員研修や生徒指導等の企画、海外の教育事情の調査等に従事しました。どの仕事も学校教育への信頼を高めるためのものでした。

指導改善研修や服務事故の防止のために、夜を徹して啓発資料づくりや予算獲得のための説明資料づくりに奔走したこともありました。これ皆、私自身が教員であるという信念から、教育を軽んじる風潮を排除し、未来ある子供たちに希望と夢をもたせ、格差や差別から解放したいとの一念からでした。

世界をめぐる、日本の教員は専門性や意識が高いことを知りました。優れた教育を実践

している国の研究者等からは、「過去に日本の教育から沢山のことを学んだ」と聞かされました。私たちはもっと自信をもつべきです。

今、変えたいことは、単に教育内容を再生産する教育から、知識・技能を習得させるとともに、社会的な資源を活用して、教科・領域にとどまることなく、複雑な課題を解決しようとする意欲やコンピテンシーを高める教育にしていけることです。

何はさて置き、受験競争のための教育、その場限りの価値のための教育から未来を見据えた教育へと一人ひとりの教員が意識を変えること。このことが我が国の教育の大問題であり、日本の教育の課題であると考えます。

【教員に求められること】

私は、教員への信頼や尊敬の念が希薄化していることを懸念しています。学校教育を弄り回して、教員を軽んじる国は道徳を軽んじる国と同じであると考えています。それは、道徳を軽んじて国が栄えた例は皆無に等しいからです。「中教審」での議論では、教員の資質能力を「これからの社会で求められる人材像を踏まえた教育の展開や学校の諸課題への対応に力を発揮し、社会からの尊敬・信頼を受ける教員であること。思考力・判断力・表現力等を育成する実践的指導力を有すること。困難な課題に同僚と協働し、地域と連携して対応する力など」と取り纏められました。

とまれ、今後の学習指導要領は、過去の改訂とは大きく異なることを深く理解しなければならぬと考えます。それは、教育基本法第2条（教育の目的）、同法第9条（教員）。そして、学校教育法第21条（義務教育の目標）を日常の業務遂行の縁とし、同法31条の2項に示された学力観を教員自らが実現できなければならぬ。

【学校経営で大切にしていること】

私が校長職を拝命する際、先輩からお手紙を戴きました。そこには、「策（柵）がなければ悔い（杭）が残る」と。この一言は、ユーマアに欠ける私にとっては、「目から鱗」の感を禁じ得ませんでした。そして、未来を予測し、意図的・計画的に教育の質を向上さ

せる。このために、目標を示し、何をいつまでに、どのような方で具体化するかを明示してきました。

日ごろから大切にしていることは、学び手の心を押し量り、褒めるべきところは大いに褒め、叱るときには自分が小中学校時代に叱られたときのことを偲びながら、叱り、考え方を換え行動に現れるよう彼らに求めます。同時に、教職員一人ひとりと職員室や廊下・校庭などでの立ち話から始まり、教材解釈や授業の展開などについて話をし、意欲や専門性を発揮できるように条件を整えるとともに、教科教室型教育の具現化に努めています。

【後輩へのアドバイス】

同輩に「理科」「数学」の両方の教員免許を卒業と同時に取得し、教職に就いた方がいます。彼らの先見性と勤勉さは、登山や学資稼ぎに明け暮れていた私にとって、他人事ではありませんでした。

しかし、教壇に立ってみると自分自身の教養のなさを露呈するばかりか、他の教科・領域の内容を深く理解することなく、「理科」の学習指導など出来たものではないことを思い知らされました。

そして今、私自身も含め、総ての教員が教科・領域間の関連を踏まえて授業を設計し、学び手の主体的・自律的な学修へと誘う専門性や指導力を高める必要があります。

教育は社会存立の基盤です。学校は学び手の社会上昇に貢献する極めて重要な場であり機会です。加えて、「教えるということは学ぶということ」これ正に箴言だと思います。

教職にあることを誇りに、そのために教師として学び続けたいものです。

大学との連携

1. 「教員採用試験対策講座・4年生コース」

東京理科大学生涯学習センターの公開講座「4年生直前コース」が4月22日からの毎日曜日6回行われ、理窓教育会の先生方15名が約80名の学生を指導しました。

2. 工学部二部ウォームアップ講座

理窓教育会が工学部二部より依頼を受けて、入学前の集中講義を行いました。

高校の選択科目の多様化や、大学の推薦入試などの影響で、微分・積分や物理などの力が不十分のまま、入学してくる学生が増えています。4月3日～6日までの4日間、理窓教育会の会員が約300名の新入生に二次関数から微分・積分まで、力学を中心とした物理を演習形式で講義しました。

3. 教員採用試験第二次試験対策講座

教員採用試験の一次試験を合格した学生を対象にした、二次試験対策講座を教職支援センターが行いました。東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、その他に分かれ、その地区の理窓教育会の先生が・面接の苦手な理科大学生を徹底的に指導しました。

成果が期待されます。

事務局より

1 支部（支部長）との連絡窓口

教職課程指導室 小久保正己

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

メール kokubo@rs.kagu.tus.ac.jp

2 一般の連絡窓口

①書面での連絡先

〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1

PORTA 神楽坂 7F 理窓会事務所内

東京理科大学理窓教育会 宛

②急ぎの連絡先

教職課程指導室 坂本功（総務理事）

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

メール isoskmt@rs.kagu.tus.ac.jp

3 理窓教育会ホームページ

「理窓教育会」と入力すると、開きます。

「東京理科大学理窓会」のホームページの中に「理窓教育会」のものがああります。

ホームページアドレスは次の通りです。

<http://www.risoukai.com/>

4 会費納入状況

下記の表の通りです。なお、平成 24 年度は
9 月 6 日現在の納入数です。

理窓教育会					支部別会費納入数				
県名	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	県名	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
北海道		1		3	滋賀				
青森	1	1	1	1	京都				
岩手	4	4	8	2	大阪	2	2	1	
宮城	4	12	3		兵庫		2	1	1
秋田	17	16	19	21	奈良			1	5
山形	1		1		和歌山				
福島					鳥取	3	1	2	
茨城	24	8	7	3	島根				
栃木				1	岡山				
群馬	1	1	1	1	広島	33	40	41	2
埼玉	40	45	38	41	山口	2	3		1
千葉	66	4	32	30	徳島				
東京	60	43	66	78	香川	1	1	1	
神奈川	9	14	12	5	愛媛				
山梨		2	1		高知	2	1	1	1
長野					福岡	1	1	1	1
静岡	18	7	23	14	佐賀				
愛知	1	2	4	1	長崎	1	1	1	
岐阜	1	1	1	1	熊本				
三重	1	2	1	1	大分				
新潟	1	1	1	1	宮崎				1
富山	9	9	8	8	鹿児島	1	1	1	2
石川					沖縄				
福井					小計	46	53	51	14
小計	258	173	227	212	合計	304	226	278	226